



ISS

Institute of Social Science
The University of Tokyo

東京大学社会科学研究所

NEWSLETTER

No.6(2019年冬)



INDEX

- ◆ 社研お便り
- ◆ 研究会・セミナー
- ◆ 全所的プロジェクト
- ◆ 刊行物案内
- ◆ 所員の発言
- ◆ CSRDA/SSJDA
- ◆ 社研インタビュー
- ◆ 人事情報
- ◆ リンク集

◆ 社研お便り

「一歩手前のフィールドワーク」

社会調査・データアーカイブ研究センター 社会調査研究分野(パネル調査領域)准教授 石田 賢示

今年度から、海外の日本人現地採用就業者のキャリアに関する実証研究のプロジェクトを始めました。5年間で、日本を離れる動機や現地での生活の変化や、将来展望がどのように形成されるのかを明らかにしようという研究です。プロジェクトの目玉は個人に対する追跡調査(パネル調査)ですが、類例となる定量的な調査がない状況では、ピントの外れた調査をしてしまいかねません。そこで、事情をよく知る現場の人々からいろいろと学ぼうというのが初年度の目標です。

現地採用の紹介をなさっている企業の方ならば詳しいだろうと考えましたが、誰を訪ねるべきかの勘所がつかめません。最初はまったくの手探りで、研究チームメンバーのツテをたどる、あるいは「飛び込み営業」をかけてみるなど、走りながら考えるといった具合です。今年度は幸いにして香港、シンガポール、タイ、インドネシアを実際に訪問でき、日本国内での聞き取りも含めて20名弱の現地採用担当の方々からお話をうかがえました。心からありがたいと思っております。

聞き取り調査に際しては、できる限り現地に赴くというのが我々の方針です。スカイプなどを用いるのも一手ですが、訪問先のオフィスを離れてインフォーマントの方々と食事を一緒にすると、よりざっくばらんにお話を伺えることもあります。また、実際にその街を歩いて少しでも現地の空気を感じ取るこ

とも大切かと考えています。写真は2018年12月にインドネシアのジャカルタを訪れたときのものです。活気に満ちあふれながらも雑然とした街を歩きながら、現地採用日本人の方々がどのようなライフコースを歩まれているのだろうかと思像も膨らんでゆきます。フィールドワークの専門家の目にはゆるいものに映ってしまうかもしれませんが、このような体験の蓄積が次年度以降のパネル調査の企画・実施に(おそらく)活かされると信じています。地味でも少しずつ、地に足の着いた研究を進めてゆければと思います。



2018年 大渋滞のジャカルタ市内(歩道橋より筆者撮影)

◆ 研究会・セミナー

01> 社研セミナー

2018-11-13 「シェアリング・エコノミー：中国と日本の現状、および今後の研究構想」

丸川 知雄 (社会科学研究所)

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20181113.html>

2018-12-11 「日本の財政危機をめぐる事実と言説」

藤谷 武史 (社会科学研究所)

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20181211.html>

2019-01-08 "Stalin's Long Shadow: Cultural Policies and Revolutionary Potential in Communist Mongolia"

(国家の文化政策と市民反発：共産主義モンゴルの比較政治研究)

Meredith R. Shaw (社会科学研究所)

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20190108.html>

02>



現代中国研究拠点 <https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/>

2018-11-16 「一帯一路構想」研究座談会

ゲスト：畢 世鴻 (雲南大学)

参加者：高原 明生 (東京大学)、丸川 知雄 (社会科学研究所)、川島 真 (東京大学)

2018-12-03 ワークショップ

「ハードウェアハッカーの世界と中国～エンジニアが手を動かして見出した深圳～」



スピーカー：高須 正和

(スイッチサイエンス、『ハードウェアハッカー』訳者)

コメンテーター：山形 浩生

(『ハードウェアハッカー』監訳者)

ゲスト：藤岡 淳一 (ジェネシスホールディングス)

司会：伊藤 亜聖 (社会科学研究所)

2018-12-06 Contemporary China Research Base Seminar Series (No.42)

現代中国研究拠点セミナーシリーズ(第四十二回)

"China and Russia: The New Rapprochement and the End of a Unipolar World"

Speaker : Alexander Lukin (Head of the Department of International Relations, National Research University Higher School of Economics)

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/activities/>

03> 産業組織研究会 <https://www.iss.u-tokyo.ac.jp/~matsumur/IOWJA.html>

2018-12-03 "Two Applications of the Uncertain Dichotomous Choice Model: Conditional Debt Relief and Skills and Power"

Shmuel Nitzan (Bar-Ilan University)

2018-12-05 "FCPA and Market Quality"

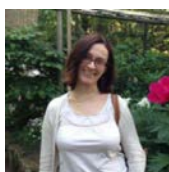
Krishnendu Ghosh Dastidar (Jawaharlal Nehru University, India)

04> 現代日本研究会 (The ISS Contemporary Japan Group)

2018-11-22 "News headlines and ethnic minorities in Japan—Reporting the 'hate speech law' of 2016—"

Iwona Merklejn (Aoyama Gakuin University)

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/lecture/2018/11/news-headlines-and-ethnic-minorities-in-japan-reporting-the-hate-speech-law-of-2016.html>



(写真は青山学院大学HPより)

https://www.sccs.aoyama.ac.jp/teacher/iwona_merklejn/

2018-12-13 "Japan's New Leadership in Liberal Economic Governance"

Yves Tiberghien (University of British Columbia)

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/lecture/2018/12/japans-new-leadership-in-liberal-economic-governance.html>



(Photographed by Martin Dee (University Photographer at UBC))

<http://faculty.arts.ubc.ca/tiberg/Homepage09/welcome.html>

2019-01-11 "Japan's Ambivalent Pursuit of Shareholder Capitalism"

Steven K. Vogel (U.C. Berkeley)

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/lecture/2018/12/japans-ambivalent-pursuit-of-shareholder-capitalism.html>



(写真は本人HPより)

<http://polisci.berkeley.edu/people/person/steven-vogel>



危機対応学 HP

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/>

公式Twitter

<https://twitter.com/crisisthinking>

01> 活動報告

2018-09-30 東北大学小野田研究室×危機対応学 第1回意見交換研究会@東北大学

東北大学小野田 泰明研究室(大学院工学研究科都市・建築学専攻建築計画研究室)と、
危機対応学釜石調査チームからの数名とで、意見交換研究会が行われました。

報告は、こちらをご覧ください。

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/181018.html>

2018-11-18 危機対応学トークイベント開催@釜石

テーマ「東日本大震災と自治体の組織」

内容「東日本大震災時の自治体の組織とその中に生きる職員の活動」や「その経験が組織
にどのように生かされているか」などについて日本の行政組織の特徴の中で考える

ゲスト 竹内 直人(京都橘大学)

報告は、こちらをご覧ください。

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/181118.html>

2018-11-20 第3回危機対応学ワークショップ(所内限定)

「今後の危機対応学の研究方向性についてⅡ」

2018-12-18 第4回危機対応学ワークショップ

『危機対応学ー明日の災害に備えるために』合評会

討論者: 佐藤 慶一(専修大学)・大崎 裕子(東京大学)

報告はこちらをご覧ください。

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/190108.html>



(写真は危機対応学HPより)

2018-12-26 東北大学小野田研究室×危機対応学 第2回意見交換研究会@東北大学

報告は、こちらをご覧ください。

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/190110.html>

02> エッセイ掲載

2018-12 鈴木 伸枝(駒沢大学)

「外国人増加は日本の危機か」

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-13.html>

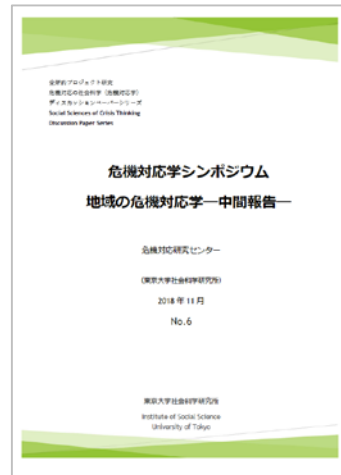
03> 研究成果 ディスカッションペーパー

2018-11 No.6 危機対応研究センター

危機対応学シンポジウム

地域の危機対応学—中間報告—

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/pub/images/dp6.pdf>



04> メディア掲載など

2018-10-25 『統合報告書2018 ~Integrated Report × Institutional Research~』

(東京大学、2018年10月、p.17)にて危機対応研究センターの取り組みが紹介されました。

2018-11-24 『復興釜石新聞』に「自治体のあり方考察 東大社研 非常時から平常時へ 危機対応学 トークイベント」が掲載されました。

2018-11-27 『釜石市議会だより』(第154号)の一般質問にて危機対応学が取り上げられました。



[A Wish for Something to Come True by Action](https://project.iss.u-tokyo.ac.jp/hope/)

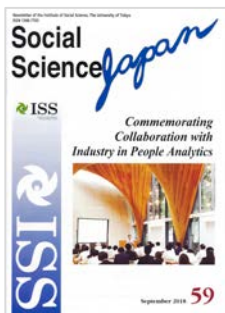
<https://project.iss.u-tokyo.ac.jp/hope/>

01> メディア掲載

2018-11-08 『サイนズ』(2018年12月、福音社)に

「釜石の希望学—挫折をバネに！」が掲載されました。





Social Science Japan Newsletter

SSJ第59号(Commemorating Collaboration with Industry in People Analytics)が刊行されました。

詳細、目次は、SSJ Newsletter のページをご覧ください。

下記よりダウンロードできます。

<https://newslet.iss.u-tokyo.ac.jp/ssj59/index.html>

ディスカッションペーパーシリーズ 外国語シリーズ

2018-10-15 F-144 Masaki NAKABAYASHI, "Peasants, Landlords, and Risk: Moritaro Yamada on the Duality of the Japanese Capitalism"が改訂されました。下記よりダウンロードできます。

<https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/dp/dpf/pdf/f-144.pdf>

2018-12-07 F-163 **Aigerim ZHANGALIYEVA**, and **Masaki NAKABAYASHI** "Legacy of Czar: The Russian Dual System of Schooling and Signaling"が改訂されました。下記よりダウンロードできます。

<https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/dp/dpf/pdf/f-163.pdf>

2018-12-18 F-190 Kenji ISHIDA, Shin ARITA, Keiko GENJI and Mei KAGAWA "The Opportunity Structure of Local Employment of Japanese Workers in Hong Kong: A Perspective from Staffing Agencies"が刊行されました。下記よりダウンロードできます。

<https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/publications/dp/dpf/pdf/f-190.pdf>

所員の著書> <https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/books/2018/index.html>



玄田 有史(編)

『30代の働く地図』

(岩波書店 2018年10月)



仲修平(著)

『岐路に立つ自営業』

—専門職の拡大と行方—』

(勁草書房 2018年11月)



末廣 昭・田島 俊雄・

丸川 知雄(編)

『中国・新興国ネクサス』

—新たな世界経済循環—』

(東京大学出版会 2018年12月)



田中 亘(著)

『会社法 第2版』

(東京大学出版会 2018年12月)

◆ 所員の発言

01> 新聞・雑誌

- 2018-10-16 『日本経済新聞』(朝刊27面)、富士山会合ヤング・フォーラム特集「日中関係 日本企業向けアンケート」に伊藤 亜聖の署名記事「市場の潜在力に期待」が掲載されました。
- 2018-12-01 月刊『連合』(2018年12月号)、対談「若者の『働く』を考える」玄田 有史×神津 里李生(連合会長)が掲載されました。
対談内容は、以下のURLから読むことができます。どうぞご覧ください。
<https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/fullswing/data/201812.pdf>
- 2018-12-07 『文藝春秋』(2019年1月号)、【特集 平成30年史 全証言】
玄田 有史 「[社会]就職氷河期世代を襲う『七〇四〇問題』」が掲載されました。(p.294-301)
<http://bunshun.jp/articles/-/9905>

◆ 社会調査・データアーカイブ研究センター(CSRDA/SSJDA)



01> SSJDAデータ公開情報

- 2018-10-19
PH070「東大社研・高卒パネル調査(JLPS-H) wave7, 2010.10」(東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト)
- 2018-11-06
1167「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート, 2017.4」(連合総合生活開発研究所)
1190「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート, 2017.10」(連合総合生活開発研究所)
1202「平成22年度特に優れた業績による返還免除認定者に係る現況等に関する調査, 2017」(日本学生支援機構)
1214「貧困層の形成(静岡)調査, 1953」(東京大学社会科学研究所)
- 2018-11-27
1188「生活の質に関する調査, 2013」(内閣府経済社会総合研究所)
1189「生活の質に関する調査, 2014」(内閣府経済社会総合研究所)
1204「奨学事業に関する実態調査, 2010」(日本学生支援機構)
1206「特に優れた業績による返還免除認定者に係る進路状況調査, 2016」(日本学生支援機構)
- 2018-12-04
1170「外国人留学生在籍状況調査, 2016」(日本学生支援機構)
1172「協定等に基づく日本人学生留学状況調査, 2016」(日本学生支援機構)
1173「外国人留学生年間受入れ状況調査, 2016」(日本学生支援機構)
1174「短期教育プログラムによる外国人学生受入れ状況調査, 2016」(日本学生支援機構)
1219「働く1万人の就業・成長定点調査, 2017」(パーソル総合研究所)
- 2018-12-07
1171「外国人留学生進路状況・学位授与状況調査, 2016」(日本学生支援機構)
1175「私費外国人留学生生活実態調査, 2015」(日本学生支援機構)

2018-12-21

- 1208「全国中小企業動向調査(小企業編), 2017.4-6」(日本政策金融公庫総合研究所)
 1209「全国中小企業動向調査(小企業編), 2017.7-9」(日本政策金融公庫総合研究所)
 1210「全国中小企業動向調査(小企業編), 2017.10-12」(日本政策金融公庫総合研究所)
 1227「全国就業実態パネル調査, 2018」(リクルートワークス研究所)

社会調査・データアーカイブ研究センター: <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

◆ 社研インタビュー

01> 第30回 社研卒業生の現在(いま)

関沢 洋一 さん 独立行政法人経済産業研究所
 (上席研究員 兼 研究コーディネーター)

社研在籍期間:

准教授(2006年7月～2008年6月)

振り返ってみると、わずか2年間の社研の在籍でしたが、とても有意義だったと思います。
 もしかしたらこの2年が私の人生を変えてしまったのではないかなと思うことさえあります。
 (続きは本文をご覧ください！)

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/ob/sekizawa_2018_12.html



02> 第33回 新刊著者訪問

『「同一労働同一賃金」のすべて』(有斐閣 2018年2月)

水町 勇一郎 (専門:労働法)

—— 日本を「家族みんなが夜ごはんを一緒に食べられる普通の社会」にするというイメージ
 をもって「働き方改革」に取り組んでいただけるとうれしいです。
 (続きは本文をご覧ください！)

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/mizumac_2018_10.html



◆ 人事情報

(短時間有期雇用職員)

異動内容	氏名	職名	所属等
所内異動(2018.10.16付け)	谷口 沙恵	特任専門職員	共同利用拠点室 学術支援専門職員から
採用(2018.11.01付け)	池田 陽子	特任研究員	附属社会調査・データアーカイブ 研究センター
採用(2018.11.01付け)	茂木 暁	特任研究員	附属社会調査・データアーカイブ 研究センター(社会調査部門)

(短時間有期雇用職員)

異動内容	氏名	職名	所属等
採用(2018.11.01付け)	山口 泰史	学術支援専門職員	共同利用拠点室
採用(2018.11.01付け)	長島 麻子	学術支援職員	共同利用拠点室
採用(2018.12.01付け)	保田 幸子	学術支援専門職員	センタープロジェクト室

◆ 社会科学研究所/リンク集

- 01> 各種最新情報: <https://issnews.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 02> 研究会・セミナー案内: <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/index.html>
- 03> 人材公募情報: <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/recruitment/index.html>
- 04> 刊行物一覧: <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/index.html>



(2019年6月20日改訂)